

大会施設の建設工事における安全衛生対策の実施状況の フォローアップについて（案）

平成 29 年 1 月 25 日
幹 事 会 申 合 せ

1 基本的な考え方

大会施設の建設工事における労働災害や重大な事故のリスクに対し安全衛生対策の徹底を図るとともに、快適で安全な建設工事のモデルとして今後の建設工事に好影響を与えるため、安全衛生対策の実施状況をフォローアップし、好事例を中心にとりまとめる。

2 フォローアップの方法

（１）発注者は後記 3 に掲げる対象工事について、「2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の大会施設工事における安全衛生対策の基本方針」に基づく次の事項の実施状況を年度上期・下期ごとに様式 1 により協議会事務局まで報告する。

- ① 発注者等による安全衛生の取組
- ② リスクアセスメントの実施促進等
- ③ 墜落・転落災害等の防止徹底
- ④ より魅力ある建設現場の構築

（２）事務局は実施されている安全衛生対策について好事例を中心にとりまとめ、協議会又は幹事会で報告する。

（３）発注者は対象工事における延べ実労働時間数及び度数率※等を年度四半期ごとに様式 2 により協議会事務局まで報告する。事務局は対象工事の度数率等を集計し、協議会又は幹事会で報告する。

$$\text{度数率} = \frac{\text{労働災害による死傷者数}}{\text{延べ実労働時間数}} \times 1,000,000$$

- ※ 労働災害による死傷者数とは、休業１日以上及び身体の一部又はその機能を失う労働災害による死傷者数。
- ※ その他、度数率の具体的な算出方法は労働災害動向調査（厚生労働省大臣官房統計情報部）に準拠する。

３ 対象工事

対象工事は別紙のとおりとする。なお、開催計画等に応じて追加等の変更があり得るものとする。

対 象 工 事 一 覧

会場名		建設種別	競技／種別
1	新国立競技場 (オリンピックスタジアム)	恒久施設	【オリンピック】開会式／閉会式、陸上競技、サッカー 【パラリンピック】開会式／閉会式、陸上競技
2	皇居外苑	仮設施設	【オリンピック】自転車競技(ロード・レース スタート／ゴール)
3	有明アリーナ	恒久施設	【オリンピック】バレーボール(インドア) 【パラリンピック】(決勝)車椅子バスケットボール
4	有明体操競技場	仮設施設	【オリンピック】体操 【パラリンピック】ボッチャ
5	有明BMXコース	仮設施設	【オリンピック】自転車競技(BMX)
6	有明テニスの森	既存施設(改修工 事あり)	【オリンピック】テニス 【パラリンピック】車いすテニス
7	お台場海浜公園	仮設施設	【オリンピック】トライアスロン、水泳(マラソン10km) 【パラリンピック】トライアスロン
8	潮風公園	仮設施設	【オリンピック】バレーボール(ビーチバレーボール)
9	大井ホッケー競技場	恒久施設	【オリンピック】ホッケー
10	海の森クロスカントリーコース	仮設施設	【オリンピック】馬術(総合馬術:クロスカントリー)
11	海の森水上競技場	恒久施設	【オリンピック】ボート、カヌー(スプリント) 【パラリンピック】カヌー、ボート
12	カヌー・スラローム会場	恒久施設	【オリンピック】カヌー(スラローム)
13	アーチェリー会場(夢の島公園)	恒久施設	【オリンピック】アーチェリー 【パラリンピック】アーチェリー
14	オリンピックアクアティクスセンター	恒久施設	【オリンピック】水泳(競泳、飛込、シンクロナイズドスイミング) 【パラリンピック】水泳
15	陸上自衛隊朝霞訓練場	仮設施設	【オリンピック】射撃 【パラリンピック】射撃
16	選手村	恒久及び仮設施設	—

※ 本体工事とは別契約の、独立して行われる造成や周辺インフラ工事は含めない。

大会施設工事における安全衛生対策の実施状況（案）

<様式1>

【201＊年度＊期】

工事の名称	
現場所在地	
発注者	
受注者	
工期	平成〇〇年〇〇月〇〇日～平成〇〇年〇〇月〇〇日
<工事概要>	

① 発注者等による安全衛生の取組

基本方針	対策の実施状況
発注者による安全衛生経費の適切な積算、施工者間の請負契約における安全衛生経費の明確化	
設計段階における施工時の作業性・安全性への配慮	
発注者・設計者から施工者への的確な情報提供・指示、隣接工事の発注者による連絡調整の場の設置等	
②から④の対応状況の確認	
その他	

② リスクアセスメントの実施促進等

基 本 方 針	対 策 の 実 施 状 況
・ リクアセスメントによる、より安全な工法の選択、リスク低減策の評価と改善	
・ 元方事業者による現場の統括安全衛生管理	
・ 工事従事者の経験や能力、立場等に応じてきめ細かい教育	
・ 危険個所や視覚的に捉えられない危険の「見える化（可視化）」	
・ その他	

③ 墜落・転落災害等の防止徹底

基 本 方 針	対 策 の 実 施 状 況
高所作業を少なくするような観点からも工法を検討	
足場を設置する際のより安全性の高い措置	
墜落時に身体への衝撃が少ないハーネス型安全帯を積極的に採用	
埋設物・架空線の破損事故、資機材の落下、工事車両による交通事故等の公衆災害の防止	
その他	

④より魅力ある建設現場の構築

基 本 方 針	対 策 の 実 施 状 況
先進的な安全技術や安全管理手法を積極的に採用	
熱中症予防、メンタルヘルス対策等の工事従事者の健康管理	
女性専用のトイレ・更衣室の設置、受動喫煙防止対策の徹底や長時間労働の縮減など、これからの時代に相応しい現場づくり	
安全衛生活動に功績のあった者や優良工事への表彰	
その他	

大会施設工事における度数率等調査票（案）

<様式2>

【201*年度第*四半期】(2017.*～2017.*まで)

【基本情報】

工事名称			
連絡照会先	記入責任者	所属	
	電話		
	メールアドレス		

1 対象期間中の工事日数

対象期間中の工事期間	年	月	日	から	年	月	日	まで
工事日数								日

2 対象期間中の全労働者数の延べ実労働日数及び延べ実労働時間数

全労働者の延べ実労働日数		日
全労働者の延べ実労働時間数【A】		時間

3 労働災害の発生状況

(1) 労働災害による労働不能程度別死傷者数及び延べ休業日数

	①死亡	②永久全労働不能 (1～3級)	③永久一部労働不能 (4～14級)	一時労働不能 (休業日数は、所定休日も含めた暦日数の記入)			⑦合計 (①+④+⑤+⑥)	人【B】	度数率 (B/A) × 1,000,000
				④休業8日以上	⑤休業4～7日	⑥休業1～3日			
死傷者数									
延べ休業日数								日	

(2) 永久一部労働不能(3(1)③)の身体障害等級内識別負傷者数

身体障害等級 別負傷者数(人)	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	11級	12級	13級	14級	合計
												人

(3) 不休災害被災労働者数

不休災害被災労働者数		人
うち永久一部労働不能負傷者数		人

4 一人親方等労働者性のない作業員の被災状況(3とは外数の関係にある)

一人親方等労働者性の ない作業員の被災状況	死亡	休業4日以上	合計
			人

【お問合せ】

厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課建設安全対策室

(2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会大会施設工事安全衛生対策協議会)

電話: 03-5253-1111(内線)5486,5489